

## 主催者挨拶

本日は、私たちNPO法人「輝け酒々井まちづくり研究会」が開催いたします音楽会にお越し頂き真に有難う御座います。

私たちの音楽会は3年前のジャズコンサートに始まりロンドンアンサンブルとの協賛、琴と馬頭琴の演奏会と今回は第4回を開催することになりました。

今年の音楽会は、声楽の領域で国際的に活躍されているロシア出身のバリトン歌手ヴァイタリ・ユシュマノフ氏と国内外のピアノコンクールで数々の受賞をされ、伴奏者としてもご活躍のピアニスト山田剛史氏をお迎えし開催することに致しました。

魅惑の歌声が奏でる美しい歌の数々を心ゆくまでお楽しみいただけることを願っております。

私たちのNPO法人は、町民の皆様が安心して楽しく暮らせる全員参加のまちづくりを、町民の皆様と一緒に実現する活動を行って居ります。この活動の一つがこの音楽会であります。

ここ酒々井で珠玉の音楽を聴いて多くの方が心豊かなひとときをお過ごし頂くと共に町民の皆様がご近所の方々との出会いや交流の場を持って頂き、強い絆で結ばれ相互に助け合うコミュニティの構築に役立てて頂ければと願っております。

私たちNPO法人は、まちづくり活動をより充実したものとするために広く会員の募集を行って居ります。まちづくり活動に関心をお持ちの方々のご参加をお待ち申し上げます。

最後にこの音楽会にご来場下さいました皆様、開催に当たり多大なご協力を下さいました、まちづくり関係者の皆様、酒々井まちづくり研究所の研究員の皆様の心温まるご支援に対し主催者一同心から深く御礼申し上げます。短い時間では有りますが、素晴らしい音楽を楽しくご鑑賞下さい。

平成29年3月26日

NPO法人 輝け酒々井まちづくり研究会  
理事長 山本孝一

## program -プログラム-

Giordano, Andrea Chenier, “Nemico della patria”

ジョルダナーノ、オペラ「アンドレア・シェニエ」、  
「祖国の敵」

フランス革命を題材にしたオペラ。革命裁判所の大広間で正義感と嫉妬心に悩む魅力的な男ジェラールが歌うバリトンのための名アリア。

Bellini, “Bella Nice, che d'amore”

ベルリーニ、「美しいニーチェよ、この愛の」

「熱烈な愛を呼び起こす美しいニーチェよ。もし私が死んで墓の前で泣いてくれるなら、すぐにも死にたいくらいだ」と歌うロマンチックな愛の歌。

Bellini, “L'abbandono”

ベルリーニ、「棄てられて」

想いの届かない相手に対し、自分の悲しみを伝えておくれと、そよ風や蜜蜂に頼んでいる。19世紀初頭、ベル・カントとよばれる時代の、高度な技術を要する歌曲。

Bellini, “Vanne, o rosa fortunata”

ベルリーニ、「行け、幸運なバラよ」

愛する女性が持っているバラの花のように、自分も彼女の胸に近付きたいという気持ちを歌う男性の歌。

R. Strauss, “Zueignung”

R.シュトラウス、「献呈」

「あなたは本当の愛とは苦しいものだを教えてくれたね。ありがとう。」と、自堕落だった自分を救ってくれた恋人に、感謝をささげる歌。

Schubert, “Gruppe aus dem Tartarus”

シューベルト、「タルタルスの群れ」

タルタルスとは冥界の最も深い底の部分で、神に背いたものが落とされるところ。そこをさまよう大罪人の影を描いた歌。

Чайковский, “Нет, только тот, кто знал”

チャイコフスキー、「ただ憧れを知る者だけが」  
ゲーテの「ウィルヘルムマイスターの修業時代」の中の詩。ただ憧れを知る者だけが私の恋する切ない心を分かってくれる・・・と歌う。

Римский-Корсаков, “Не ветер, вея с высоты”

リムスキー=コルサコフ、「高みから吹く風が」

「あなたの優しい言葉は、5月の吐息のように僕の痛んだ心にそっと触れた」と歌う。

Римский-Корсаков, “Октава”

リムスキー=コルサコフ、「八行詩」

詩というものは教科書で学ぶものではなく自然の中で感じるままに出てくるものと教えている。

Chopin, “Berceuse” Op.57

ショパン、「子守歌」Op.57 (ピアノソロ)

ショパン晩年の小品。静かに繰り返される左手の音形に乗って、右手が美しい変奏を繰り返す。

Verdi, Don Carlo, “Per me giunto e il di supremo”

ヴェルディ、オペラ「ドン・カルロ」、「私の最後の日が参りました」

昔のスペインの王子とその親友ロドリゴの話。父である王と喧嘩して立場が悪くなった王子を救うため、自ら身代わりとなって命を落とすロドリゴのアリア。

\*\*\*\*\* 休憩 \*\*\*\*\*

杉山長谷夫、「出船」

船で旅立つ人を見送る哀しさを歌った、日本情緒たっぷりの歌。昭和の初めに出たレコード(歌:藤原義江)で人気を博す。

平井康三郎、「平城山」

北見志保子が奈良市にある磐之媛陵(いわのひめのみささぎ)で恋の辛さは今も昔も変わらないを詠んだ短歌2首が歌詞となっている。

成田為三、「浜辺の歌」

朝と夕の静かな海岸の景色が目浮かぶよう。

ともしび(ロシア民謡)

戦地に赴く若者とその恋人の別れの歌。

吹雪(ロシア民謡)

吹雪に隠れた美人に恋心を抱いた男が「顔を見せておくれ」と歌う。

ふるさと(ロシア民謡)

目の前に広がる広大な風景が自分の故郷であることに感動を覚え、その喜びを歌っている。

Chopin, “Barcarolle” Op.60

ショパン、「舟歌」Op.60 (ピアノソロ)

やはり晩年の名作。舟の揺れるようなリズムにのり、澄みきった世界が描かれる。

Tosti, “Ideale”/トステイ、「理想の人」

昔愛し合った恋人を「理想の人」と呼び、「ひと時でいいから戻ってきて!」と訴える歌。端整で穏やかなメロディに、情熱的な言葉が並ぶ。

Tosti, “A vucchella”

トステイ、「可愛い口もと」

「君のちょっとしおれた可愛い唇でキスをしておくれ」と恋人に甘える歌。

Tosti, “L'ultima canzone”

トステイ、「最後の歌」

明日別の男と結婚する元恋人に自分の愛を訴える、未練たっぷりの恋歌。